

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 罹患後の 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群の実情

COVID-19罹患後症状の中で、倦怠感や労作後疲労感は最も多い症状です。その中で、一部の患者さんは、疲労感が長期化し、筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群に移行すると言われております。我々は当科のコロナ・アフターケア外来を受診した患者さんに着目し、どれくらいの割合の患者さんが筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群に移行するのか、後ろ向き研究によって検討しました。

Table 1. Numbers and proportions of patients who met the ME/CFS criteria.

Types of Criteria	Number (%) of Patients (<i>n</i> = 279)
Fukuda, 1994	48 (17.2)
Canada, 2003	50 (17.9)
IOM, 2015	50 (17.9)
met all of the above criteria	47 (16.8)

IOM: Institute of Medicine.

コロナ・アフターケア外来には、比較的后遺症状の程度が強い方が来院されるため、割合が高くなる可能性はありますが、16.8%の患者さんが筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群の基準を満たすことが明らかとなりました。

